



**日本学術会議基礎医学委員会**  
**公開シンポジウムの開催について（お知らせ）**

**開催概要：～ “基礎研究の成果を臨床研究へ” をテーマにシンポジウム開催～**

生命科学研究では、過去半世紀以上にわたり技術の限りを尽くして遺伝子や分子など、からだを構成している物質を追い求めて来ました。しかし、最近の科学技術の進歩で、私たちの体の機能をまるごと外からみることのできる様々な機器が開発されました。また、スーパーコンピュータが新薬や治療法の開発に役立つ時代を迎えています。

本シンポジウムでは、我が国を代表する研究者が、先端的手法を用いた個体内（インビボ）研究を推進した成果、試験管内（インビトロ）研究から個体内研究への道筋、バーチャル臓器開発とその未来について講演を行います。

**テーマ：**

**先進的インビボサイエンス研究の推進**

**— 個体レベルでの生体機能の理解と予測を目指して —**

**プログラム：**別紙を参照願います。

**日程：**平成 24 年 11 月 19 日（月） 14:00～18:00

**場所：**北海道大学医学部学友会館「フラテ」ホール

（札幌市北区北 15 条西 7 丁目、北大医学部正面玄関より入って右手）

※札幌駅北口より徒歩 13 分

**主催：**日本学術会議基礎医学委員会

**共催：**北海道大学大学院医学研究科、北海道大学大学院薬学研究院

**後援：**北海道大学未来創薬・医療イノベーション拠点形成、日本生理学会北海道地方会

**参加対象・募集人数：**一般市民・医療関係者

**参加費：**無料

**言語：**日本語

**申し込み期間・方法：**事前登録は不要です。直接会場にお越しください。

**お問い合わせ先**

北海道大学大学院医学研究科時間医学講座 担当：特任教授 本間さと

Tel:011-706-4778 Fax:011-707-4737 E-mail:sathonma@hokudai.ac.jp

日本学術会議 基礎医学委員会 公開シンポジウム

# 先進的インビボサイエンス研究の推進

— 個体レベルでの生体機能の理解と予測を目指して —

日時: 平成24年11月19日 14:00-18:00

会場: 北海道大学 医学部学友会館 フラテホール

参加費: 無料、参加登録: 不要

(パート1) 司会: 本間さと

14:00 開会の挨拶 佐伯 浩 (北海道大学総長)

14:05 非侵襲機能画像法による高次脳機能解析

宮下 保司 (東京大学)

座長: 本間研一 (北海道大学)

14:50 シナプス制御分子から脳高次機能と精神疾患へ

三品 昌美 (立命館大学)

座長: 久住一郎 (北海道大学)

15:35 消化管炎症と運動機能障害: 運動と免疫機能を担う筋系細胞の生理と病態

尾崎 博 (東京大学)

座長: 吉岡充弘 (北海道大学)

16:20-16:30 ( 休憩 )

(パート2) 司会: 南 雅文

16:30 薬物動態の予測に基づく創薬支援システムの確立:

In vitro から in vivo の予測 (IVIVE)、薬物間相互作用、個人間変動の予測を中心に

杉山 雄一 (理化学研究所)

座長: 原島 秀吉 (北海道大学)

17:15 新しい心臓研究のツールとしての心臓シミュレータ”UT-Heart”

杉浦 清了 (東京大学)

座長: 高木 都 (奈良県立医科大学)

18:00 閉会の挨拶 玉木 長良 (北海道大学医学研究科長)

お問い合わせ:

本間 さと (北海道大学大学院医学研究科) Tel: 011-706-4778

南 雅文 (北海道大学大学院薬学研究院) Tel: 011-706-3246

主催 日本学術会議 基礎医学委員会 機能医科学分科会

共催 北海道大学大学院医学研究科, 北海道大学大学院薬学研究院

後援 北海道大学未来創薬・医療イノベーション拠点形成, 日本生理学会北海道地方会

